

プログラム 教員養成～学習院大学教育学科を例に

活動内容 自然を守るために育てたい人間像を学ぶ

活動時期 12月中旬から1月中旬

活動時間 1時間～3時間程度

参加対象・人数 120名まで対応可能

用意するもの 汚れてもいい服装と靴、水筒、(弁当)

研修のねらい

- ・保全管理の体験と環境サポーターとの対話を通じて
- ・自然との触れ合いの大切さや留意点
- ・身近な自然の問題の理解と自然を守る活動の体験
- ・自然を守るボランティアの必要性 等

指導者

あらかわ市民(サブ)環境サポーター※
※ 荒川の自然を守る活動や自然学習の指導を行うボランティア。荒川上流河川事務所にて登録

あらかわ市民環境サポーター事務局



1. 事前準備

武銀	サポーター事務局
<ul style="list-style-type: none"> 候補日、要望の提示 参加者に必要な準備の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> 要望に応じたプログラム案の提示 指導者の手配 必要な道具の手配



2. 当日

主な活動の様子	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・三ツ又沼ビオトープとは？ ・今日のスケジュールと注意事項 等
	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨシの刈り取りと運搬 <ul style="list-style-type: none"> ・作業の意義と作業仕方の説明 ・協働作業
	<ul style="list-style-type: none"> ●木道上からの自然観察 <ul style="list-style-type: none"> ・観察できた生きものの解説 ・自然体験を行うときの留意点 ・三ツ又沼ビオトープで行われている学校教育活動の紹介
	<ul style="list-style-type: none"> ●参加した全員で活動のふりかえり (主な意見) <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターの姿勢から、自然を守るために、教育を通じて育む人間像が想像できた。 ・自然を守る大変さと、多くの人の協力が欠かせないことを実感した。 ・自然と触れ合いを子どもたちに促す上で大切なことを、まず自らが体感できた。

お問い合わせ先：

あらかわ市民環境サポーター事務局（国土交通省 荒川上流河川事務所 河川環境課）
 電話：049-220-0145 Email：3biotop@ktr.mlit.go.jp